

令和2年度シラバス (地理歴史)

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	地歴(地理B)	単位数	4単位	学年(コース)	2学年(選択必修)
使用教科書	新編 詳解 地理B (二宮書店)		新高等地図 (東京書籍)		
副教材等	新編 地理資料2020 (とうほう)				

1 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- 単なる暗記にとどまらないようにする。
- 資料に親しみ、利用できるようにする

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第I編 地図と地理的 技能	第1章 地理情報と地図 第1節 世界観の変化と地図 第2節 地球儀と世界地図 第3節 地理情報の地図化 第2章 地図と地域調査 第1節 地図の活用 第2節 身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 様々な時代の世界地図の読図により、人々の世界観の変化を理解させる。 地球儀の活用や時差に関する学習。 地図の種類とそれぞれの特色を理解させる。現代世界に関する統計を地理情報に加工し、分布図や階級区分図を作成できる地理的スキルを習得させる。 地形図、都市計画図、住宅地図などの特色を理解させ、地域調査の目的や方法に合った地図を選択し、入手できる能力を習得させる。 地域調査の手順、資料の収集と整理、生活圏の地域的特色を捉える地理的スキルを習得させる。 	10	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題
5	第II編 現代世界 の系統地理 的考察	第1章 自然環境 第1節 地形 第2節 気候 第3節 自然と生活	<ul style="list-style-type: none"> 大地形・小地形の特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得させ、地形と生活、自然災害との関係を考察させる。地形図の読図スキルを習得させる。 地球規模でみた気温・降水量・大気循環、海洋や水の循環を取り上げ、その特色や形成要因を考察・理解させる。長期的におこる気候変動と、異常気象について理解させる。 世界の気候区分の方法や世界規模からみた植生・土壌の特色、世界の気候帯とその分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。 	16	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
6		第4節 環境問題 第2章 資源と産業 第1節 農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の諸問題に関する分布や形成要因を考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。解決に向けた国際協力の動きを理解させる。 世界の農業・水産業・林業の特色や分布、形成要因などについて考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して要因を考察させる。 	16	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト
7		第2節 資源・エネルギー 第3節 工業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の資源・エネルギーの特色や分布、形成要因について基礎的・基本的知識を習得させる。 世界の工業の成り立ち・立地、工業地域の形成と変容に関して考察させ基本的知識を習得させる。グローバル化の中での世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察させる。 	13	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
8		第4節 流通と消費	<ul style="list-style-type: none"> 世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光の特色と動向、形成要因に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。各課題に関して世界的視野に留意して考察させる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価
9	第3章 人口と村落・都市 第1節 人口 第2節 村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。 村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察させて、基礎的・基本的知識を習得させる。地形図から村落形態を読み取る地理的スキルを習得させる。 	13	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 	
10	第4章 生活文化と民族・宗教 第1節 衣食住 第2節 言語と宗教 第3節 民族と国家	<ul style="list-style-type: none"> 世界の衣食住の分布と特色、地域性との関連を考察させ基本的知識を習得させる。 世界の言語と宗教の分布、言語・宗教と社会との関連を考察させる。 民族と国家との関連を理解させ、基本的知識を習得させる。世界の民族と国家の多様性や日本の領土問題について考察させ、国家群や国連の役割を理解させる。 	13	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 定期考査 	

11	第 III 編 現代世界の地誌的考察	第 1 章 現代世界の地域区分	・現代世界が自然、政治、経済、文化などの指標によって様々な地域に区分できることを理解させ、多様な区分から各地域の現代の特色と課題を考察・理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。各国の位置と歴史的背景、自然環境、農牧業、鉱工業とサービス業、地域の特色の項目ごとに整理して考察させる。	12	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト
		第 2 章 現代世界の諸地域			
		第 1 節 中国	・国家規模の大国としての中国について「発展する大国」に着目させ、各産業や人口、環境問題とを結びつけて考察させる		
		第 2 節 韓国	・隣国としての韓国について「近隣諸国との関係」に着目させ、各産業や、経済の著しい発展、人口と食料・資源確保の課題とを結びつけて考察させる。		
		第 3 節 東南アジア	・国家よりも大きく州よりも小さい規模の東南アジアを、各産業や都市問題など項目ごとに整理して考察させる。		
12		第 4 節 インド	・国家規模の大国としてのインドについて「巨大な人口」に着目させ、各産業や生活、居住・都市問題と貧困と結びつけて考察させる。	12	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		第 5 節 西アジア・中央アジア	・アジアの中の 2 地域である西アジア・中央アジアを、各産業や、イスラム教と人々の生活とといった項目ごとに整理して考察させる。		
1		第 6 節 アフリカ	・大陸規模の地域としてのアフリカを、各産業や、紛争、人口急増と食料問題という項目ごとに整理して考察させる。	14	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト
		第 7 節 EU	・国家の集合体としての EU について「地域の統合」に着目させ、それと各産業や言語・宗教、都市と交通、地域変化、高齢化社会への対応と結びつけて考察させる。		
		第 8 節 ドイツとポーランド	・EU 内で隣接する国家であるドイツとポーランドを、類似性をもつ二つの国家として、自然、民族と文化、産業、課題について比較しながら考察させる。		
		第 9 節 ロシア	・国家規模の大国としてのロシアについて「体制転換後の社会と経済」に着目させ、それと歴史的背景や産業、自然、世界との結びつき、環境問題を結びつけて考察させる。		
2		第 10 節 アメリカ	・アメリカの各産業、住民、都市化、世界との結びつき、居住・都市問題で整理・考察させる。	13	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		第 11 節 ブラジル	・ブラジルについて「地域開発と経済発展」に着目させ、それと各産業や国土開発と熱帯林破壊とを結びつけ地域課題を考察・理解させる。		
		第 12 節 オーストラリアとカナダ	・南半球に位置するオーストラリアと北半球に位置するカナダを、対照性をもつ二つの国家として捉え、各産業・土地資源の分布と利用、環境問題を比較しながら地域的特色と地域的課題を考察・理解させる。		
3		第 3 章 現代世界と日本	・今までの学習を基にして、日本の自然、産業構造、人口構成と居住問題、伝統文化保全とグローバル化に関して、日本が抱える地理的課題を生徒自らに見つけさせ、その課題を多面的・多角的に考察、探究させる。	4	
第 1 節 世界の中の日本					
第 2 節 持続可能な社会に向けて	・地理的スキルを活かして資料を作成させ、課題解決のための提言を行わせることによって、日本が抱える地理的課題の解決の方向性や将来の国の在り方について展望させる。				

計 140 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・各単元ごとに小テストがあります。
- ・長期休業中に課題を別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用・技能	知識・理解
自然現象等に対する関心と課題意識を高め、国際社会のなかで主体的に生きようとしている。	日本や世界の地域的特色を考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、表現している。	地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	日本や世界の地域的特色についての基本的な事象を理解し、その知識を身につけようとしている。
以上の観点を踏まえ、定期考査・小テスト・日常の課題・休業中の課題・授業中の態度等から総合的に判断して行う。			

6 担当者からの一言

- ・提出物の提出期限を守る。
- ・地理への関心を深め、自ら進んで地図帳等を使おうとする。
- ・自然現象や地形の成因が何によるものなのかをきちんと理解する。